

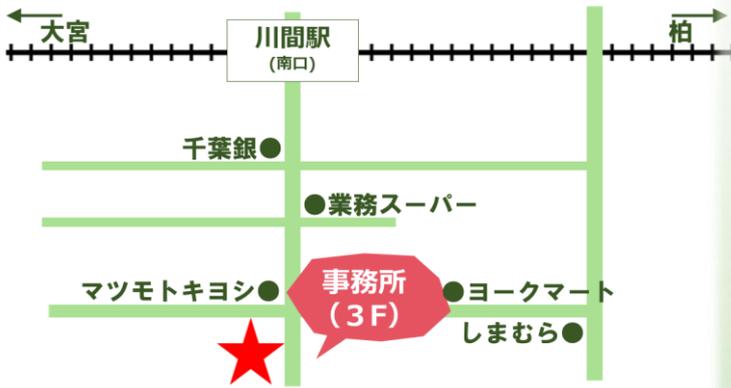
野田市 議会議員 おぐら なおき おもいやい通信

国民民主党
Democratic Party For the People

野田市議会報告 小椋直樹事務所
VOL.30 2024年5月発行



事務所：野田市岩名1-27-17 間中ビル301 H P: <https://www.ogura-nodashi.net/>
自宅：野田市尾崎台33-4 T E L: 04-7129-0909
MAIL: ogura.nodasi@gmail.com F A X: 04-7107-5022



Profile

昭和39年7月11日野田市岩名生まれ
会派民主連合
野田市議会常任委員会（総務委員会）

(株)あおば総合保険 代表取締役

《会員》

野田市国際交流協会 | 民社協会 |
千葉県中小企業家同友会 | 柏法人会
| 野田商工会議所 | 野田市中小福祉サービス |
一般社団法人終活協議会（終活ガイド資格取得）
日本自動車査定協会
一般社団法人日本語研究会



ご挨拶

～令和6年度予算を賛成とする～

令和6年度野田市一般会計予算歳入面では、市税で約マイナス1.7%で減収となっており、交付金等に依存している状況に見えます。一方歳出は民生費の割合が高く、約245億7,100万円の構成比で45.9%となっており、いわゆる社会保障が大きくなっている傾向だと思えます。民生費だけで一般会計の半分にせまる構成比となっています。

令和6年度の野田市一般会計予算の総額は535億6,500万円で、昨年の当初予算に比べて、12億9,000万円増となっており、これまでの当初予算とはスタイルが違い、生活様式も移行している最中に見込むことは苦難と見えますが、同時に丁寧な執行とともに、子育て支援策の充実、教育環境の整備、充実、災害対応の向上、連続立体交差事業と駅前整備、健康スポーツ文化施設の推進、緊急医療体制確保事業、環境教育推進事業の促進をお願いして、賛成としました。



令和6年第2回野田市議会定例会 小椋直樹一般質問

1. 今後の災害対応の在り方と災害協定の状況について

- (1) 能登半島地震を踏まえて、野田市としての災害対応の考えについて伺う。
- (2) 災害協定の在り方や災害協定の状況はどのようになっているか伺う。

2. 野田市におけるDXの進捗と課題について

どこの部署でどのように推進されているかや、推進している中で課題などがあるか伺う。

活動内容

四街道市議選で
飯豊あきひさ候補の
応援に駆けつけました。



IHIクリーンエネルギー
研究所にて水素を活用した
Co2フリー循環型地域社会
創りについて学びました。



第4回の国民民主党
千葉県連大会に
参加しました。



令和6年第31回目の総
会に参加しました。



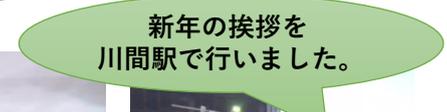
野田保健所にて保健所の
役割について榎本県議と共に
レクチャーしました。



丸亀市市民交流センター
において
「マルタスについて」
学びました。



新年の挨拶を
川間駅で行いました。



令和6年第2回の
議会で一般質問をいたしました。



民主連合 小椋直樹

川間台の老人会に平戸航太国
民民主党第7区総支部長と
参加させて頂きました。



◆主な議案内容

令和6年3月

- | | | |
|--------|----------------------------|------|
| 議案第12号 | 空家等の適切な管理に関する条例の一部改正 | (可決) |
| 議案第15号 | 介護保険条例の一部改正 | (可決) |
| 議案第19号 | ひとり親家庭等医療費助成金支給に関する条例の一部改正 | (可決) |

◆主な請願内容

- | | | |
|--------|---------------|-------|
| 請願第01号 | 土曜授業の中止を求める請願 | (不採択) |
|--------|---------------|-------|

◆主な発議内容

- | | | |
|--------|-----------------------|-------|
| 発議第01号 | 志賀原発と柏崎刈羽原発の廃炉を求める意見書 | (不採択) |
|--------|-----------------------|-------|

◆目玉事業 (子育て支援施策の充実)

- ◎子ども医療費助成金《拡充》
令和6年8月診療分から、高校生3年生までを助成対象とし、自己負担金を通院1回(入院は1日)につき500円として制度を拡充する。
- ◎あかちゃんお祝い金
出生後初めてかつ申請日において野田市の住民基本台帳に記載されている子どもに対し、「あかちゃんお祝い金」として、1人につき10万円を支給する。
- ◎第3子以降の学校給食費無償化
第3子以後の義務教育期間における学校給食について、市立小学校の学校給食費を無償化する。